

令和元年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の概要

施設名称	松本市河川防災ステーション	所管課 TEL	維持課 0263-34-3000(内線1838)						
所在地	松本市宮淵本村1番10号	設置年月	平成14年4月1日						
施設設置目的	洪水時等の非常時における水防活動を円滑に行うとともに、平常時における防災意識の向上及び地域活動の活性化を図る。								
施設概要・設備	敷地面積 7,640㎡ 延床面積 563㎡ 会議室、多目的ホール、水防倉庫、事務室、芝生広場、ヘリポート、資材備蓄広場								
指定管理者名(選定方式)	公益社団法人 松本地域シルバー人材センター(特命)								
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5カ年)								
指定管理者の 主な業務	施設使用の許可、施設の維持管理								
利用料金制の導入	なし 委託料方式								
施設の利用状況	利用区分等	利用目標	利用実績	対目標比(%)	対前年比(%)				
	会議室貸出回数	150回	139回	92.6%					
	(特記事項)								
事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和元年度)				市の収支				
	収入 (歳入)	年度計画額		収支実績額		令和元年度決算		平成30年度決算	
		項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
		指定管理料	1,360,000	指定管理料	1,354,240				
	計	1,360,000	計	1,354,240	計	0	計	0	
	支出 (歳出)	警備等委託料	270,000	警備等委託料	268,794	指定管理料	1,354,240	指定管理料	1,346,200
		人件費	619,000	人件費	618,075				
		委託費	133,000	委託費	132,361				
		立替材料費	80,000	立替材料費	79,425				
		消耗材料費	212,000	消耗材料費	209,875				
水道料		46,000	水道料	45,710					
計		1,360,000	計	1,354,240	計	1,354,240	計	1,346,200	
損益	0	0	0	差引	-1,354,240	差引	-1,346,200		
(特記事項)									

2 市(所管課)による評価

指定管理者の事業計画書(提案書)の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価するものです。
 評価の手段は、実績報告書(毎月)及び事業報告書(年度終了時)の点検並びに立入検査(随時)等によるものです。

評価の基準	
A	(1.0) 高いレベルで実施されており、高く評価できる。
B	(0.7) 事業計画書(提案書)どおり適切に実施されており、問題は見られない。
C	(0.5) 事業計画書(提案書)どおり概ね実施されていたが、一部に不適切な部分の確認され、改善に向け対応中または対応済みである。
D	(0.0) 不適切な部分の確認されたので、改善を指示したが、未対応または改善の見込みがなく、指定管理者の取り消しを含め検討する必要がある。

小計
64.2

大項目	中項目	評価項目	配点	評価	評価の根拠	
管理基準対応	市民の平等利用	1 合理的な理由なく利用者を制限や優遇するなど、市民の平等な利用を妨げていないか	2	B	ホールが市民に開放されており、公平性が保たれている。	
	職員の労働条件	2 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の正当な労働条件を確保しているか	2	B	関係法令を遵守した適正な労働条件は確保されている。	
	危機管理対策	3 災害時や緊急等に適切な対応がとれる体制となっているか	2	B	関係機関への連絡及び事故状況の把握、記録、市への連絡と報告書の作成まで、一連で緊急連絡網が作成されており、問題はない。	
		4 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応しているか	2	B	管理運営業務を的確に理解し、責任をもって管理運営に携わっている。	
	個人情報保護	5 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護について、書類・電子データ等のセキュリティ対策を講じているか	2	B	書類については適正に処理されている。	
	情報公開	6 情報公開や監査請求を理解し、適切な対応を行っているか	2	B	適正な経理の管理をしており、情報公開、監査請求に対処できる内容となっている。	
管理能力	団体の概要	7 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	4	B	決算報告書により経営状況に問題は見られない。	
		8 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	2	A	公益法人であり体制に安心感がある。	
	管理運営	9 市が示す設置目的及び施設運営方針を理解し、仕様書に示した業務を適切に行っているか	5	B	管理運営方針、管理運営業務の内容及び管理基準に適合した事業計画どおり実施されており、問題は見られない。	
		10 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか	3	B	緊急時の連絡等も密に行われるなど、責任を持って管理運営に携わっている。	
	組織・体制	11 職員体制や配置人員は適切であるか	3	B	人員配置、シフト体制、勤務時間ともに問題なく、管理運営上は適切である。	
		12 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	2	B	管理スタッフは、施設の管理運営、維持管理作業の経験者であり、指揮系統、責任権限も明確になっている。	
	働き方改革の推進	13 働き方改革に積極的に取り組んでいるか	2	B	長時間労働をしないために人員配置を見直したりと、積極的に取り組んでいる。	
	職員研修・人材育成	14 職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか	2	B	計画的に職員研修が行われており、問題は見られない。	
		経理及び事務処理等	15 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理が行われているか	3	B	会計処理の基準等に基づき、適正な事務処理がされている。
			16 業務の第三者委託の範囲、委託先は適切に実施されているか	2	B	適切に業務が行われており、問題はない。
	安全管理	17 業務報告や事業報告を適切に作成し、期限までに報告されているか	3	B	実績報告書及び事業報告も適切に作成され、期限までに提出されており、問題はない。	
	施設の運営	業務内容	18 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練は実施されているか	4	B	地震や風水害などに備えた研修を行い万全を期している。
19 管理区域、業務範囲についての的確に把握し、適切に管理運営を行っているか			4	B	日常の巡回、清掃等が適切に行われており、管理区域、業務範囲についての的確に把握されており、問題はない。	
20 施設の設置目的を把握し、施設の効用を最大限に発揮する事業運営を行っているか			5	B	設置目的、管理運営業務を的確に理解した事業計画となっており、適切に計画が履行されている。	
21 年間の事業量が適切に実行されているか		3	B	事業計画に基づき適切に事業が実施されており問題はない。		
地域との連携		22 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組んでいるか	2	B	積極的に地域活動等に参加し、地域の住民の方々に施設利用もしていただいた。	
利用促進		23 施設の利用率の向上に努めているか	4	B	自主事業の実施等により施設の利用促進に取り組んでいる	
利用者サービス向上		24 利用者の利便性や満足度を高めるため、具体的な方策を講じているか	5	B	利用頻度が高い多目的広場の草刈り、芝、植栽の管理を行うなど利用者のサービス向上に努めている。	
障害者等への配慮		25 障害者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理がなされているか	3	B	障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理が行われている。	
苦情・要望等への対応		26 利用者アンケート等を適切に実施し、苦情や要望、意見等に適切に対応しているか	3	B	苦情対応は迅速に行われた。利用者ニーズを把握するためにアンケート調査を実施し業務改善を図っている。	
セルフモニタリング		27 セルフモニタリングが適切に行われているか	3	B	セルフモニタリングは適切に行われており、問題ない。	
環境への配慮	28 エネルギー削減等の具体的な目標を定め、その達成に向けて取り組んでいるか	2	A	グリーンカーテン(ゴーヤ等)を設置し、節電等の省エネ対策を積極的に取り組んでいる。		
経済性	経費削減・業務効率化	29 経費削減や業務効率化に取り組んでいるか	5	B	日常的に節電に取り組むなど、適切な管理運営が行われている。	
	事業報告及び決算	30 支出総額は事業計画書の範囲内か、又事業計画とおり収入が確保できたか(又は、利用者を確保できたか)	4	B	事業計画書どおりの事業を実施しており、問題となる点は見当たらない。	

3 利用者による評価

(協定書で指定管理者に実施を義務付けている利用者アンケートの内容)

利用者アンケート	実施時期	令和2年2月～3月
	調査対象	施設利用者
	調査方法	アンケート
調査結果	■どの施設を利用しましたか。・会議室 9人 ・多目的ホール 10人 ・多目的広場 8人 ■月に何回くらい利用しますか。・1回 1人 ・2～3回 9人 ・4回～6回 2人 ・7回以上 4人 ■交通手段は何ですか。・徒歩 4人 ・自転車、バイク 3人 ・自家用車 9人	
利用者からの意見 要望・苦情等	・もう少し広い部屋があるといい。	

4 指定管理者による自己評価

令和元年度の 自己評価	日々、水防センター周辺、多目的広場の巡視を行い利用者の安全を図りました。 多目的広場については、保育園児から大人まで芝生広場を利用する人が気持ちよく利用できるように、草取り、芝、植栽の管理を計画的に行うことができました。 センター駐車場において年間3回行っている「ふれあい広場」も定着してきており、会員の手作りの野菜や手芸品の販売、刃物研ぎなど、多くの市民の皆様に来場いただき、河川防災ステーションのPRも同時にできたと思います。また、事務所内に設置してある機械警備や事務所南側に設置してある防犯カメラなどにより施設の防犯に努めたり、グリーンカーテン(ゴーヤ等)を設置し、省エネに努めるなど施設や住民のことを考え運用ができたと思います。
要望・苦情への 対応状況	市民からの要望・苦情は無かったが、気持ちよく利用していただくために、日々の施設管理、窓口対応に気を配っている。
今後の目標	・広場利用者の増加に伴い、周辺の安全管理に一層の配慮をしたい。 ・「ふれあい広場」など事あるごとに防災ステーションの役割について市民に啓発していきたい。 ・グリーンカーテン(ゴーヤ等)を継続して実施していきたい。 ・利用者アンケートを行い、利用者の意見を聞いていく。

5 市(所管課)による総合評価

総合評価 (4段階評価) の基準		
A	(1.0)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等を含め、総合的観点から高く評価できる。
B	(0.7)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等も含め、総合的観点から標準を満たしていると評価できる。
C	(0.5)	アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容等、標準を満たしているが、今後改善を必要とするところがある。
D	(0.2)	改善すべき点が多く、標準に達しないと判断する。

【自主事業を実施している場合の評価】 ふれあい広場(年3回)が定着し、住民との交流や情報交換など市民の憩いの場として活用されており、好評を得ている。 【個別施設ごとのテーマに対する評価 ※設定がある場合】 【総合的な評価】 実績報告書及び事業報告が期限までに提出され、適切な事務処理が行われている。 館内清掃、多目的広場ともに十分な管理が行き届いており、特に多目的広場は保育園児から大人まで幅広い世代が利用するため、日々の細かい管理が必要になるが年間を通し問題や事故もなく管理が行き届いている。 グリーンカーテン(ゴーヤ等)の設置による冷房量の削減など経費の節減にも努めている。

配点	評価
10	B
点数	7

合計点数
71.2

判断の基準	
75点以上	「良好」
60点以上75点未満	「適正」
45点以上60点未満	「要改善」
45点未満	※「不可」

※「不可」の場合は、指定管理者の取消処分を含め、早急な改善対応の検討が必要

判断結果
適正